



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「言葉より行動を」 “Talk Less, Do More”
スローガン	「今すぐやろう！」 “Do it Now”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia, One World”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 “To walk together, echoing each other”
スローガン	「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動！」を今やってみよう！
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたワイズライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句： だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。
ルカによる福音書 11章 10節

2015年3月強調月間 JWF

皆様の気持ちで、ワイズ運動を支えます。JWF 献金にご協力をお願いします。

高瀬稔彦 JWF 管理委員長 (岩国みなみクラブ)

☆☆☆ 3月第一例会案内 ☆☆☆	☆☆☆ 2月例会報告 ☆☆☆
日 時：3月12日(木)19:00~21:00	[第一例会]2月新春特別例会 2月7日(土)~8日(日)、辰口温泉“まつさき”、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。
会 場：金沢白鳥路ホテル	[第二例会]2月26日(木)19:00~21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。
会 費：3,500円(夕食代を含む)	次期会長・主査研修会 3月7日(土)~3月8日(日)、Fソホテル大阪、参加予定者：平口次期会長。
準 備：澤瀬会長	中部特別例会(名古屋クラブ 3月例会) 3月10日(土)18:30~20:30、名古屋YMCA 代官山会館3F会議室。「新幹線おもてなし大作戦」でクリーンアップ！
プログラム	3月8日(日)7:00~8:00、新桜坂緑地(W坂)周辺。
司 会：北ワイズ	今月の聖句について 11章の冒頭にはイエスが祈りについて教えられたことから始まっている。引用した聖句は、聖日礼拝で採用されている「主の祈り」のあと、喩え話を交えながら語られた一節である。「このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」(13節)と記されているように、何でも求めれば与えられるというのではない。
開会・点鐘：澤瀬会長(金沢)	3月の当番 司会：澤瀬、準備：竹中
ワイズソング：一同	
今月の聖句：司会者	
ゲスト紹介：司会者	
今月のハッピーバースデー：澤瀬会長	
北ワイズ(26日)	
食前の感謝：三谷ワイズ	
— 会 食 —	
卓話：「米の調理方法と食べ方の変遷」 小林正史氏(北陸学院大学人間総合学部教授)	
事業委員会報告：各委員	
ニコニコタイム：北ワイズ	
閉会点鐘：澤瀬会長	
*例会に使用済み切手、アル缶、ワイズ用布製品をご持参下さい。	

当クラブ	2月出席者	2月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	ワイズ 5名	83%	前月繰越切手 2,952g	前月累計 57,048円
広義会員 0名	メネット 0名		2月分切手 8g	2月 6,000円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーカー 0名	今年度累計	
	ゲスト 0名		切手 2,960g	
			現金 0円	
合計 6名	5名	83%		累計 63,048円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 2月新春特別例会参加記 ◆

平口 哲夫

2015年2月7日(土)から一泊がけで辰口温泉“まつさき”にて開催された新春特別例会には、会員6名中5名(北・澤瀬・竹中・三谷・平口)が参加。初日16:00集合、17:00開会、18:30開宴の予定でしたが、全員揃ったのが17:00過ぎだったことから、開会・開宴時間を30分ずつ遅らせました。

まず「第33回九州部会参加記～天草キリタン歴史探訪～」と題して、昨年9月28日(日)に熊本県天草市大矢野町の亀屋ホテルで開催された九州部会と、その翌日に行われたエクスカーションに参加した平口がパワーポイントのスライドを使って概要を紹介。



(天草市有明町上津浦美ノ越 サンタマリア館前にて)



(天草市河浦町にある崎津教会の天主堂を遠望)

その後、宴席に移り、お酒などを飲みながら多彩な料理に舌鼓を打ちました。寝泊まりする部屋も、宴会場も広々としており、大浴場や露天風呂もいろいろあって、ゆったり寛ぐことができました。竹中ワイズは別部屋で早々に就寝、あとの4名は相部屋でしたが、北ワイズだけ先に寝入り、残り3名は隣室のコタツを囲んで夜中の2時頃まで長話をしておりました。



(辰口温泉“まつさき”の宴会場にて記念撮影)



(翌朝、帰宅前に宿泊室で撮った写真)

◆ 金沢YMCA創立70周年に向けて(2) ◆ ～準備委員会報告～

副委員長・書記 北 肇夫

当クラブのプリテン2015年1月号では、この準備委員会の設置経過、記念事業の基本方針、構成メンバーなどについて報告しました。その後、2月5日(木)に開催された金沢YMCA理事会において、創立70周年記念事業を2016年6月25日(土)に挙行すること、70年史を編集することなどが正式決定されました。現在、委員会は月1回の頻度で開催され、70年史編集のための資料収集に入っています。会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



(1月19日金沢YMCA集会室にて教澤委員長撮影)

◆ “ご縁”と“摂理”(11) ◆

平口 哲夫

海野道郎氏は、講演「神は全能か? —東北大震災の中で考える—」の最後に、おおむね、次のように述べています。「神義論」あるいは「悪の問題」といわれる問題は、「特に、アニミズムや二元論の宗教ではなく、一神教に自分の生き方を関係づけようとする人間にとっては、避けて通れない問題」であり、「安易に答えを求めるのではなく、問いを持ち続けることが大切」で、「ほんとうに重要な問題は答えが無い問題だ、とさえ言える」と。

「こういう問題意識は不信仰に結びつく」というような心配はしなくてもよいでしょう。有為な若者たちが「オーム真理教」に洗脳されて「地下鉄サリン事件」などを引き起こしましたが、カルトに惑わされないようにするためにも、批判力を養う理性的な思考訓練が必要です。

なお、この講演録のほかにも、東北大学基督教青年会会報第47号には山下栄三氏(東北大学名誉教授、教育学部視覚障害学)の論文「東日本大震災の後に思う」も掲載されています。山下氏は、この論文の要旨を記すとすれば「世界事象・自然の変化に関しては、認識と信仰とはそれぞれ異なる次元にある」に尽きると述べています。(つづく)